

佐藤栄作記念国連大学協賛財団

平成21年度事業報告書

平成21年度の事業について、次の通り報告いたします。

1. 第25回「佐藤栄作賞」の論文の優秀者を表彰しました。

第25回「佐藤栄作賞」のテーマを「アフリカの貧困問題」として前年度に募集した55編の論文を審査し、優秀者を6月23日に表彰しました。

優秀者

最優秀賞 1編 (賞金50万円)

Fraukje Idzenga (24歳) 早稲田大学院アジア太平洋研究科

優秀賞 2編 (賞金各20万円)

広瀬 淳一 (37歳) 委嘱研究員

Gregory Lavender (26歳) 早稲田大学院アジア太平洋研究科

佳作 1編 (賞金5万円)

Laxmisha Rai (32歳) Soongsil University, Seoul, Korea

2. 第26回「佐藤栄作賞」の論文を募集しました。

例年通り、本年度も論文を募集し、2月28日の締切日までに61編の応募がありました。慎重に審査の上、優秀者を22年7月上旬に表彰することとしました。

論文のテーマ「核兵器廃絶の可能性を述べよ—国連の役割はないか?」

応募論文数 日本文 51編 英文 10編 合計61編

3. 国連大学に寄付しました。

本年度も引き続き、国連大学ライブラリーへ図書基金として、50万円を寄付しました。